

小さくとも、キラリと輝き続ける まちづくり

第5次幌延町行政改革大綱

「新・ほろのべ自律プラン」を策定しました



町では、平成21年度で計画期間を終了した「ほろのべ自律プラン」にかわり、新しく第5次幌延町行政改革大綱「新・ほろのべ自律プラン」(計画期間 平成23年度～27年度)を、平成23年9月に策定しました。

町は、平成16年に合併せずに自主・自立の道を選択しました。そのための方策として第4次幌延町行政改革大綱「ほろのべ自律プラン」を平成17年度に策定し、様々なまちづくりに向けた取り組みを実施してきました。計画期間である平成17～21年度の間、町の

様々な取り組みに加え、国においても地方重視へ施策が転換され、想定されたほど地方交付税が削減されなかつたこともあり、赤字決算になることはありませんでした。

今後5年間の本町の財政推計を行った結果、赤字決算とはならない見通しですが、国の財政状況が極度に悪化していることや、本町の人口が今後とも減少し続け、更に少子高齢化に伴う社会保障関係経費が増加することが見込まれます。このため、引き続き、第5次行政改革大綱「新・ほろのべ自律プラン」(以下、「新・自律プラン」という。)を策定しました。

「新・自律プラン」では、最小の経費で最大の効果を上げるという行政改革の基本に立ち、事務事業の見直し等を進めながら健全財政の維持に努めるとともに、「幌延町まちづくり基本条例」や「幌延町民憲章」の精神を活かしたまちづくりを進めていくこととされていますので、町民皆さ

んのご協力をお願いいたします。

以下、「新・自律プラン」の概要をお知らせします。

基本理念・基本方針

「新・自律プラン」の基本理念は、これまでと同様に「小さくとも、キラリと輝き続けるまちづくり」とします。

基本方針も、「協働」「支え合い」「力強い産業」「安定した財政運営」「人づくり」の5項目とし、特に「協働」がキーワードになります。

町の現況と将来の姿

本町の人口は、国立社会保障・人口問題研究所によると、平成27年度には平成22年度と比較して371人(14%)減少すると推計されています。

また、単に人口が減少するだけでなく、高齢人口(65歳以上)の割合が年々高まり、年少人口(15歳未

満)と生産年齢人口(15～64歳)の割合が減少する推計となっています。

財政面では、平成21年度まで53億円前後で推移していた町債残高が、平成23年度までに国の経済対策を活用して大型プロジェクトを実施したことより増え続け、平成25年度末では65億円に達する見込みです。

このため、公債費が歳出に占める割合も、平成27年度は20・2%にもなり、今後、大きな財政負担となることが予想されます。

自律に向けての取組

自律に向けた取り組みの柱の一つ目は、「行財政改革」です。

町が実施している事務事業について、必要か不必要か

